

市民ネットワーク 川口えみ

(43 歳)

佐倉市議会議員

若さと実行力でチャレンジ!

暮らしの声が届く
身近な**県政**に!県政を
変える!

原点



福島原発事故による小児甲状腺がんが心配される中、2018年から市民ネットワークが中心となり、佐倉市内でエコ検診を始めました。「子どもたちの命と健康を守りたい」という強い思いが、私の原点となりました。

印旛沼の水質を改善し、きれいな環境を取り戻すため、石鹼を広める活動に取り組んでいます。

実践



伊藤とし子から
川口えみへ
バトンタッチ

もうすぐ
県議会議員選挙告示 3月31日
投開票 4月9日

佐倉市の学校給食のオーガニック化を求める署名活動を継続中です。千葉県有機農業を進めていきます。

活動



現場で調査



2021年から22年にかけて、市内通学路の安全調査を実施。横断歩道が消えていたり、歩道が狭いなど、問題点をまとめ、県と市に改善を求め実現。



川口 えみ



スピードスケートで
きたえた足腰で

千葉県の **ワースト1** を改善します!

ワースト1 その① 医療

新型コロナが感染拡大するたびに**発熱外来**に電話が繋がらず、医療を受けられない人が大勢出ました。

なぜ電話が
つながらない

千葉県内の医療機関（歯科を除く）は**4276**。そのうち発熱外来は**971**。わずか**23%**しかありません。全国でも最低レベル

です。これでは電話が繋がらないのは当たり前です。

新型コロナが発生してから3年間、臨時医療施設など、市民ネットワークの要望が実現しましたが、まだまだ問題山積です。

新型コロナが2類から5類に移行!

5月から5類に移行すると、感染者も外出は自由になり、感染が急拡大する恐れがあります。医療費が自己負担になれば、受診を控え重症化するケースも出てきます。**リスクの高い高齢者のケアや、在宅診療を充実させるよう至急求めています。**

子ども

● **給食の無償化とオーガニック（有機食材）化、医療費無償化を実現へ!**

● いじめ、虐待、性暴力から子どもを守り、個人として尊重する「**千葉県子ども基本条例**」策定を実現へ!

● 「酒々井学」が進める**主権者教育**を県内に広めます。

● **佐倉南高校夜間部**の生徒の通学定期代補助や、スクールバス運行など、通学支援を交渉します。

● 小中学校の全学級を**30人以下**に!



ワースト1 その② 教育

担任がいらない!

千葉県ではここ数年、法律で定められた教職員数が配置されず、小学校では担任がいらない異常事態も起きています。行き届いた教育ができていません。

2023年1月1日時点の教職員未配置420人 全国ワースト

千葉県で教師が不足する原因

◆給与が低すぎる

【臨時採用（50歳）の給与比較】

千葉県	35万8648円
埼玉県	45万8297円
東京都	42万0323円
神奈川県	46万2426円

千葉県は他の都県と比べて、年収（ボーナス含む）換算すると約**100万円**も少ない。



◆臨時教職員は原則1年毎に学校を異動させられる
教育予算を増やし、教職員を増員するよう千葉県に求めています。

福祉

● **認知症対策**として、医療・介護が連携した早期発見・早期診療の体制づくり。

● **要介護の高齢者が、在宅医療、訪問介護・看護、介護サービスや見守り・配食等の生活支援サービスを十分受けられるよう、整備を急ぎます。**

● **障がいを持つ人が、サポートを受けながら自分に適した業務に就けるよう、就労継続支援 B 型事業所の経営支援を強化。**

● コロナ禍で**生活困窮**に陥った人の支援を充実。

◆ 有機農業の推進

◆ コミュニティバスの割引制度

◆ 広域水道に要望書を提出

◆ 水道料金値下げのために印旛

◆ まちづくり

◆ 避難所に仕切りやテント導入

◆ ハザードマップの一体化

◆ 県議と連携して鹿島川の越水

◆ 浸水被害対策を提案

◆ 災害対策

◆ 学校近くに置かれていたことを問題視し、移動と処分実現

◆ 放射線量の高い側溝汚泥が小

◆ 公共施設に給水機を設置実現

◆ 議会のペットボトル配布廃止

◆ 上別所の産廃不法投棄の対策

◆ 環境

◆ 「子どもの権利ノート」配布

◆ 通学路の現地調査と安全整備

◆ オーガニック給食署名活動

◆ 学校給食の自校方式を堅持

◆ コロナを理由の簡易給食廃止

◆ 公立中学校のスラックス導入

◆ 教科書や備品等の学校保管

◆ 重いランドセル対策として、

◆ 校則の見直し

◆ 教育

◆ クーポン券を現金給付に変更

◆ 子育て世帯臨時特別給付金の

◆ 保育施設の一時保育の拡充

◆ 民営化による現南志津保育園

◆ ツの持ち帰りを廃止

◆ 公立保育園での使用済みオム

◆ 妊婦の検診・入院・陣痛時の

◆ 子育て

◆ 介護タクシーが利用可能に

◆ 市議4年の歩み

◆ 川口 えみ

川口 えみのプロフィール

1979年 秋田県秋田市生まれ。現在 43 歳
1998年 秋田県立秋田南高校英語科卒業
2002年 都留文科大学文学部国文学科卒業
2019年～佐倉市議（1 期目）
【勤務経験】ソフトウェア開発会社、出版社
【主な市民活動】
元生活クラブ生協佐倉ブロック運営委員

市民ネットワーク千葉県「子どもプロジェクト」リーダー
「水問題とハッ場ダムを考える千葉の会」幹事
「佐倉にオーガニック給食を！」署名運動実行委員長
「小児甲状腺エコー検診 in 佐倉」実行委員
「よりよい佐倉図書館が欲しい会」運営委員
「ファイバーリサイクル佐倉」運営委員
「平和・立憲会議」千葉県世話人
「耕さない田んぼの会」会員
「福島原発震災情報連絡センター」会員

【家族】夫と長女（10 歳）、柴犬
【趣味】フルート演奏
音楽鑑賞、スピードスケート
HIPHOP ダンス、ヨガ

さくら・市民ネットワーク

〒285-0837 佐倉市王子台 3-5-13
TEL043-462-0618 FAX043-489-0797
e-mail news@sakura-siminnet.com



ホームページ